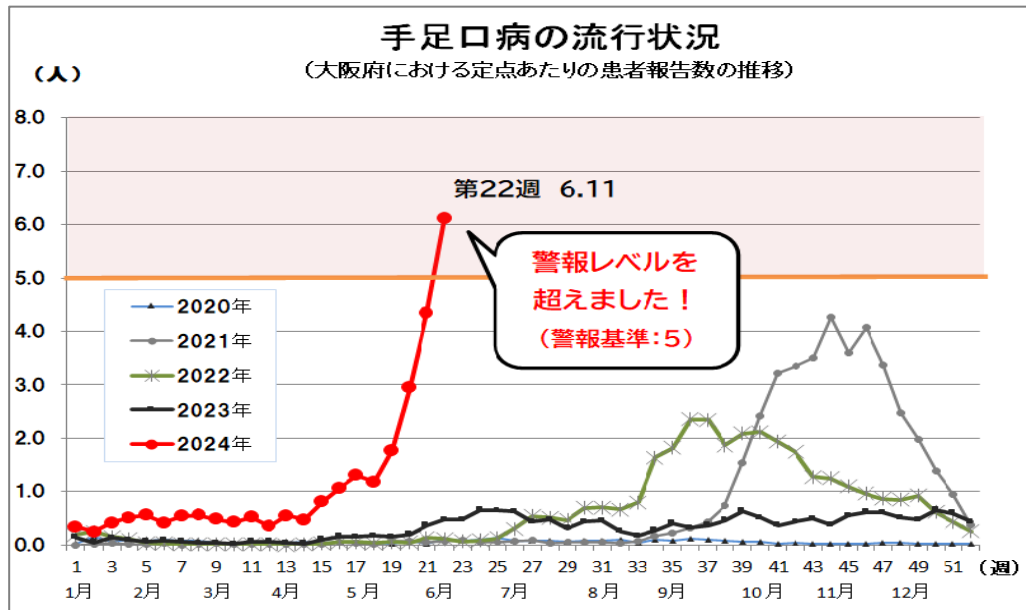


# 手足口病が流行しています

例年6月頃から増加する手足口病ですが、大阪府内の小児科定点医療機関からの第22週（5月27日から6月2日）の患者報告数が6.11人/週となり、5年ぶりに**警報レベル開始基準値（5.0）**を超えました。手足口病にうつらないよう、各個人で基本の予防対策を行いましょう！

表1. 手足口病の流行状況 定点当たり報告数推移（参考：大阪府HP（手足口病について））



## 手足口病とは？

手足口病は、手足や口の中などに小さな水膨れのような発疹を引き起こす、ウイルス感染によって起こる感染症です。4歳くらいまでの子どもを中心に夏に流行しますが、近年では成人が発症するケースも増えていきます。多くは1週間以内で自然に軽快するとされていますが、まれに髄膜炎や脳炎などの重篤な合併症を引き起こすこともあるため、注意が必要です。

## 予防対策のポイント

### 1. 『手洗い』

子どもも大人もしっかりと手洗いをしましょう！タオルの共有は×です。

### 2. 『排泄物の適切な処理』

特におむつの交換時は排泄物を適切に処理し、交換後はしっかりと手洗いをしましょう！

OTG 健康保険組合

作成：保健師 小野

文責：常務理事 大西昭彦